

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

旭川医科大学研究フォーラム (2014.02) 14巻1号:120.

本学教員執筆書籍の紹介
胸部画像診断スタンダード

高橋 康二

本学教員執筆書籍の紹介

高橋雅士、上甲 剛、高橋康二、栗原泰之、田中伸幸 編集

胸部画像診断スタンダード

メディカルインターナショナル 2013年3月25日初版 A5版 334ページ 税込価格6300円

高橋 康 二

最近の医学における画像診断学の急速な進歩、診療における重要性の増加、領域の細分化に伴い、非常に多くの画像診断の書籍が出版され、書店においても広いスペースを占めるようになっていきます。胸部画像診断の領域においても、すでに多くの優れた教科書が出版されている。その様な状況下、今回、我々が刊行した「胸部画像診断スタンダード」は、従来の教科書とは異なる全く新しいコンセプトのもとに企画、執筆された教科書といえます。

日本胸部放射線研究会 (JSTR: Japanese Society of Thoracic Radiology) は、日本医学放射線学会の中の胸部放射線科医の学術集団であり、実際の活動を支えているのがNPO法人日本胸部放射線医学研究機構であります。このJSTRのなかに、2010年秋、胸部放射線診断の発展を目指して研究教育リエゾンが設置され、胸部放射線診断医教育プログラム選定タスクフォースが結成されました。その活動の一環として、胸部画像診断を学ぶ際の標準的指標となる成書が必要であるとの要望に基づき本書の出版が企画されました。

従来の教科書と一線を画するこの教科書の特徴とし

て、1) 日本の胸部放射線医学のプロフェッショナル集団であるJSTRの主だったメンバーが直接執筆、監修を行っていること。2) 医学放射線学会専門医研修ガイドライン2012年度版に準拠した内容であること。があげられます。

本書は、放射線医学専門医試験および診断専門医試験を目指す放射線科医師のテキストとして、また日常診療で胸部画像に接する呼吸器科医、内科医、研修医の先生方においても、要点を整理した包括的な教科書となっています。各項目は基本的に見開き2ページにまとめられており、臨床事項、画像診断の要点に加えて病態生理・病理像について記載されている点が、画像所見を病態生理と対応させて理解するという本書の特徴となっています。またガイドラインに準拠し、各項目には基本的水準である「放射線専門医レベル」か、一歩進んだ「診断専門医レベル」かが示してあり、効率よく試験対策が出来るように配慮されています。本書がこれらの目的のために効率よく使用され、多くの医師が胸部画像診断を学ぶ際の一助となることを編集委員の一人として心から祈っております。

(旭川医科大学病院 放射線部)